

令和3年2月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 令和3年2月24日(水)午後3時15分
- 2 開催場所 檜葉町コミュニティセンター 小会議室
- 3 出席委員 教育長、宇佐神正道委員、小葉厚委員、菅野伯恵委員、酒主秀寛委員
- 4 出席職員 教育総務課長、こども園長、坂本課長補佐、佐藤課長補佐、横山指導主事
手島主査、五十嵐順子
- 5 出席者 ランドブレイン株式会社
- 6 傍聴人 なし

教育長

ただいまから令和3年2月檜葉町教育委員会定例会議を開催いたします。委員の皆様にはお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。出席委員は定数に達しておりますので会議を始めて参ります。会議録調整人には教育総務課の五十嵐順子さんを任命いたします。

「日程第1 会議録署名人の指名について」ですが、宇佐神職務代理者と菅野委員にお願いしたいと思います。

(「異議なし」の声あり)

「日程第2 会期の決定について」ですが、本日1日限りということでご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長

それでは会期は本日1日限りといたします。

「日程第3 会議録の承認について」ですが、教育総務課から説明願います。

教育総務課長

< 1月定例教育委員会会議録について説明 >

教育長

会議録の説明がありましたが、皆さんから何かございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、会議録のとおり承認いたします。続きまして、「日程第4 報告事項」に入ります。「教育長一般経過報告について」から報告させていただきます。

< 「教育長一般経過報告について」説明 >

以上の説明で皆様からご質問等ございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

「教育長一般経過報告について」は以上といたします。次に、教育総務課から報告をお願いいたします。

教育総務課

< 2月13日発生の地震による被害について、南北小学校3月の行事について、中学校3月の行事について、令和2年度小中学校教職員人事異動に伴う離任式について、令和3年度小中学校教職員人事異動に伴う着任式について、SOMPO BALL GAME TESTA in 檜葉についての報告 >

教育長

ただいま報告がありましたが、ご質問等ございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので報告のとおりといたします。次にあおぞらこども園から報告をお願いいたします。

こども園長

< 園児数、2月行事等報告・予定、3月行事等予定、子育て支援センター事業報告、その他についての報告 >

教育長

あおぞらこども園から報告がありましたが、ご質問等ございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

なければ報告事項は以上といたします。続きまして「日程第5 その他」ですが「檜葉町都市公園条例の一部を改正する条例について」をお願いいたします。

教育総務課長

先月の定例教育委員会で議決はいただいたのですが、資料の一部を再度、手島よりご説明いたします。

手島主査

< 資料について説明 >

教育長

説明がございましたが、委員の皆さんから何かございますか。

教育長

利用率の上昇による部分と料金改正によってプラスされた部分とがあると思うのですが、それはどの程度なのか細かい部分の試算はされたのですか。

小薬委員

令和2年度に何人が利用して、そのまま推移させると令和3年度がいくらになって、10%の利用者増加でこうなりますよという資料だったらわかりやすいと思いました。

教育長

他の委員の皆さんからは何かありますか。3月の定例会で指定管理者の議案を出す時には質問されるポイントだと思います。内訳として料金収入による増加分がいくらで、指定管理者の努力による部分がどの部分なのか、令和3年度は駅伝によって稼働が9ヶ月分で、指定管理者の努力10%はあるけれど、野球場が使用できないことによる減収部分もあるというような内訳根拠が必要なのではと思います。小薬委員がおっしゃったような質問はあると思います。その時に答えられないようでは非常によろしくないと思いますので、そこは準備をしっかりとっていただきたいと思います。それでは条例についてはよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長

それでは「檜葉町都市公園条例の一部を改正する条例について」は以上とさせていただきます。続きまして「檜葉町教育振興基本計画(案)の策定状況について」をお願いいたします。

ランドブレイン株式会社

< 檜葉町教育振興基本計画(案)の策定状況について説明 >

教育長

それでは「基本目標1」について何かございますか

小薬委員

成果指標のところですが、いいところばかり見ていて、いいのかなど。悪いところにも視点をおいた何かがあったほうが良いのではと思います。見栄えが悪くなるかもしれませんが、それを入れることによって悪いところの評価もしっかりやりますよ、という資料があってもいいのではと感じました。

ランドブレイン株式会社

基本的に成果指標につきましては、総合計画の中で扱っている指標と整合をはかりながら入れている形になっています。項目を追加ということになれば担当課と調整しながら入れていく形になるのかと思います。そこは引き続き協議という形にさせていただければと思います。

小薬委員

「学校図書館の充実」とありますが、この充実は何を表しているのでしょうか。アンケートの基礎調査の中で「公共の図書館で見つけた」という意見がほとんどないことが気になりました。公共の図書館がうまく活用されていないので、環境的な整備とどのくらいの図書を貯蔵するのか、子どもたちが関心を持てるような図書館整備が必要ではないかと思えます。

ランドブレイン株式会社

学校図書館の充実につきましては冊数というところもございますし、どういった本を入れていくところに関係していくのかと思います。子どもたちが読みたい、関心を持つ本、それだけではなく見せ方、司書による紹介の仕方、出会いの環境作りの工夫が出来る部分かと思えます。お話のありました充実につきましては12ページの「本に親しむ環境づくり」におきまして、読みやすい環境づくりを記載させていただいたほうがよいのかなと思えます。今のご指摘の部分は町の本来の事業との関連性もあるかと思えますので、調整したいと思えます。

小薬委員

「スクールソーシャルワーカーと連携し」とありますが、現状はどうなっているのでしょうか。スクールカウンセラーの記載がありませんが、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの2つがあって早期発見、早期対応が出来ると思うのですが。

教育総務課長

現状はスクールソーシャルワーカーではなく、スクールカウンセラーが小学校、中学校にそれぞれ配置されております。スクールソーシャルワーカーについては県へ要望するとスクールソーシャルワーカーに繋いでいただけることになっています。小中学校の現状で

すと、スクールカウンセラーが子どもたちの悩み、不登校の子どもの対応に当たっています。現状ではスクールソーシャルワーカーまでお願いするようなことはない状況です。

ランドブレイン株式会社

スクールカウンセラーという表現が抜けていますので、調整させていただきたいと思います。

教育長

追記したほうがいいですね。

小葉委員

実働はスクールカウンセラーだが、スクールカウンセラーで解決できないものは県と連携してしっかりやっていくというイメージがあればいいと思います。

菅野委員

「食育の推進」「こども園職員の研修の充実」「安全な食事に関する指導に取り組む」などありますが、昔は先生に苦手な食べ物を無理やり食べさせられたこともあったようなので、先生の指導もしていただければなと思います。

ランドブレイン株式会社

背景を説明させていただきますと、小学校のヒヤリングで他校に比べると偏食傾向が強い児童が多いと思っている先生がいらっしゃいます。食べず嫌い、残すことに対する罪悪感というか葛藤が薄くなっていることを懸念されています。もうひとつ背景としてありますのはJヴィレッジと中学校で健康づくり食育の授業が行われました。その授業の後に保護者から栄養に気遣うようになった、意識の変化があったというお話がありました。そういった背景もありまして記載させていただきました。

宇佐神委員

「こども園～中学校までの教育課程を編成し」とありますが、これは一体となって教育課程を編成していくという意味で書かれているのか、それとも学校、こども園でそれぞれに教育課程を編成するのか、どちらの意味で書かれているのでしょうか。

ランドブレイン株式会社

表現を修正させていただきたいと思います。内容としましては、それぞれの教育課程が編成されているところにつきまして、接続する部分、幼児教育から小学校へ上がるまでにこれぐらいになってほしい、こども園の職員との意見交換導入のところがまだまだ出来ていませんでした。下の図にありますように、到達目標をお互い設定することによって、同じイメージの中で切れ目のない教育課程が進んでいくということで記載させていただいています。

小薬委員

「民間事業者のノウハウを学び」とありますが、現状 1 年行っていますが、その評価をしたのでしょうか。その評価をして継続があると思います。良いところもありますが、もしかしたらデメリットもあるかもしれないので、こう書ききっていいのでしょうか。

ランドブレイン株式会社

調査の段階で、こういうところを民間から学べればいいという話をいただいています。具体的な評価としては、確認できていません。確認させていただき、表現のほうを工夫させていただきたいと思います。

教育長

それにつきましては今年から始まっていますので、しばらく続けて内容を精査しながら進めていくという表現のほうが、評価という表現よりはよろしいかと思えます。

小薬委員

「情報リテラシーの育成」とはどういうことですか。

ランドブレイン株式会社

情報リテラシーとは情報を扱うにあたっての前提条件や、扱うことのできる技術や知識といったことです。例えばインターネットでトラブルを起こさない為の方法や検索の仕方、危ないサイトに入らない方法、そういった前提条件を学んでいくことによってトラブルを防いでいくということを記載させていただいています。

小薬委員

ICT の活用について、教師側のアンケートでは 5 人に 1 人はあまり活用でいていないようですが、教える側がしっかり教えることはできるのでしょうか。

ランドブレイン株式会社

現状としましては教員の方もそれぞれ教えあって、専門の支援員と協力して活用方法を学ばれている状況です。ICT の活用のアンケートでは研修、学んでいきたいという意見もありました。そういったところを反映できるような表現方法にさせていただこうと思えます。

教育長

続いて「基本計画 2」について何かございますか。

宇佐神委員

言葉遣いですが、「推進します」や「検討します」とありますが、この中では「検討」という言葉が一番弱いと解釈してよろしいですか。

ランドブレイン株式会社

「検討」というのは、事業としては行いますが、その進み方についてはもう少し中での調整が必要との意味合いで、おっしゃるとおり少し弱めの表現になっています。

宇佐神委員

調べて考えて終わりというような解釈にも取れるので、言葉を考えてほしいと思います。

ランドブレイン株式会社

ここの表現については考えます。

教育長

続きまして「基本目標3」について何かございますか。

酒主委員

広義のサッカーを重点スポーツ目標として施策であげるのであれば、施策の展開のところが1つしかないのでは、他のものは2つ以上あるので何か追記が可能なかどうか。後はスポーツ振興基本計画案であればいいのですが、これは教育振興基本計画なので、意味合いを強めたほうが良いのか、条例化するスポーツ推進条例と意味合いが高まるような表現がよろしいのかなと思います。広義のサッカーの表現がどうかではなくてももちろんJヴィレッジを核としてサッカーを推進していくことは当然のことだと思いますので、うまくリンクの仕方を考えていただきたいと思います。

教育長

広義のサッカーということで重点スポーツは間違いはないのですが、それと並行して町全体としてはスポーツの活性化によって人口を拡大しよう、スポーツの種目に関わらず裾野を広げようということもありますので、それをどこかに書いていただきたい印象があります。

ランドブレイン株式会社

広義のサッカーも含めましてその表現についてはもう一度精査させていただきたいと思っています。

教育長

その他ございますか。それでは「基本目標4」について何かございますか。

教育長

「リニューアルした歴史資料館」とありますが、リニューアルは来年するので「リニューアルした」という表現が要らないのではないかという意見がありました。

菅野委員

これだけ見ると大人たちだけのイメージがあります。自分のふるさとにこういうものがある、史跡など子どものうちから触れ合えるような取り組みをしてほしいなと思います。

ランドブレイン株式会社

ふるさとを知ってもらうことや郷土愛を育むような学習機会をどういう形で表現するかはもう少し協議させていただければと思います。

教育長

「施策1 歴史・伝統・文化の保護、継承」と「施策2 歴史・文化の継承活動推進・人材育成」があって、檜葉町の歴史から子どもたちがふるさと学習をして、歴史を学んでいこうというのがどこかにあれば非常にいいのかなと思います。その中で当然、東日本大震災からの記録記憶あわせて学んでいくことが必要なのではないかなと思います。特に震災以降に生まれたお子さんがすでに義務教育にあがっています。震災の記憶が薄れてきていることもあるので、そういったものの表現が東日本大震災以降も含めて檜葉の歴史がしっかり子どもたちに伝わるような表現があればいいかなと思います。

ランドブレイン株式会社

特徴のひとつのふるさと学習については、少し薄くなってしまいましたので調整させていただきたいと思います。

教育長

双葉郡八町村でふるさと創造学というものをやっております。その中でそれぞれの町村の歴史と文化伝統をしっかりと学習しようとやっていますので、どこかに記載があったほうが学校とは連携できるのかなと思います。

酒主委員

「文化団体連絡協議会の復活に取り組みます」とありますが、今復活に取り組んでいる途中であればこの表現を尊重しますが、もしこれからであればもう少し組織にとらわれず、その前段の表現で「連絡団体の整備、その支援を行うように取り組みます」のような表現にしておいたほうがいいのではと思いました。改めて組織化することが必要なかどうかは気になりました。先程の子ども議会の中でも浜下りに参加した子どもさんが、伝統文化の再開について一般質問したくらいですのでとても重要なことだと思っています。町長も参加できる体制を構築していきたいとのことなので、これにとらわれずもっと後押しできるような体制づくりの表現をうまく作っていただいたほうがいいのかなと思います。事務局のほうですでに進めているようであれば変えてください、ということではなくて確認しながら進めていただければと思います。

教育長

あくまでも文化団体連絡協議会の復活が目的ではなく、他との整合性も取ってこうい

う表現をしていると思います。酒主委員がおっしゃったように浜下りであるとか、ある地区ではじゃんがら念仏踊りが復活していて、天神太鼓の学習もやっていますけれど、子どもたちが地域の中で参加できる取り組み、文化の部分が大事だと思うので、そういった書き方も必要だと思います。「文化団体連絡協議会の復活に取り組みます」というのは他の計画の整合性を含めてこういった表現ですが、酒主委員のおっしゃった表現も必要だと思うのでその辺は調整させていただければなと思います。

その他、皆さんいかがでしょうか

それでは施策の展開については以上とさせていただきますが、後でお気づきの点があれば教育総務課のほうにお寄せいただきたいと思います。修正も可能な部分もごさいますので、そういった形の進め方をお願いしたいと思います。ランドブレインにはご説明いただきましてありがとうございました。

教育長

その他ございますか。ないようですので次回の日程をお願いします。

教育総務課長

今回は3月23日(火)午後1時30分よりコミュニティセンターで行います。

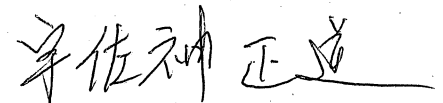
教育長

以上をもちまして令和3年2月の檜葉町教育委員会定例会議を閉会いたします。ありがとうございました。

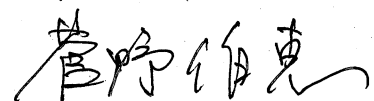
午後5時10分閉会

令和3年2月24日

議事録署名人



議事録署名人



会議録調整人

五十嵐 順子